

『同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために  
小・中・地域の交流と連携を深めよう』

I 主題設定の理由

- 同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域が抱える教育課題を共有し、その解決に向けた交流を行う。
- 地域との連携を強化し、「地域の子どもは、地域で教育する」という視点で地域の教育力の向上を図る。
- 小学校・中学校の連携を強化し、小・中の系統的な教育のあり方を研究する。

II 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会 【夏季臨地研修会】

- (1) 日時 8月3日(火) 午後1時30分から
- (2) 場所 臨濟宗妙心寺派 乾徳山 恵林寺(甲州市塩山小屋敷2280)
- (3) 目的 松里中学区に関する、歴史、文化、自然等についての学習会を行い、地域についての見聞を広める。
- (4) 内容 座禅体験・境内散策

2 第2回ブロック交流研究会 【松里小学校授業公開の参観・情報交換会】

- (1) 日時 11月17日(水) 午後1時50分から
- (2) 場所 松里小学校各教室
- (3) 目的 松里中学校区の小学校の授業の様子をブロック内の小中学校の教職員が参観することによって、地域の児童の様子を把握し、情報交換をするなかで地域の教育的課題を明らかにし、小中連携して子どもたちの健全な育成を図ることができるようにする。
- (4) 内容 全学年、様々な教科にわたり授業参観を実施  
各校校内研究についての報告  
生徒指導等も含めた情報交換

3 第3回ブロック交流研究会 【講演会】

- (1) 日時 1月12日(水) 午後15時30分から
- (2) 場所 松里中学校
- (3) 目的 「食育」をテーマに、地域の特徴や課題を共通理解する。
- (4) 内容 講師 風間美智子先生(栄養職員 塩山北小学校)を招いての、「学校における食教育」についての講演会

### Ⅲ 成果と課題

#### 1 成果

- 臨地研修において、学区内にある有名な恵林寺だが、実際に訪れ歴史や文化財を知ることができたのはとても有益であった。また、座禅体験は初めて体験する先生方も多く、その体験を子どもたちに語っていくことのできる貴重な研修内容であった。地域にこのような環境があるのであれば、直接子どもの教育に関るものでなくても、教職員の地域に関する教養や見聞を広める意味で有効的である。
- 授業参観については、小学校の取組や実情を共有し、生徒の様子なども含めて共通理解を図ることができた。また、小中それぞれの立場において、各教科に関しての系統性や連携を再確認する良い機会であった。
- 各校校内研究の報告については、別々のテーマでありながら、同様の課題を含んでいたり、同じ目的に向かって取り組んでいかなければいけない部分に気付いたり、大変有意義なものとなった。また、基礎学力の定着に向けての読書量の話等、小中での共通理解を図ることができた。
- 全体会における研究協議において地域の子どもたちについての共通な話題について情報交換することができ、地域の子どもを育てる視点で課題や方向性を話し合うことができた。
- テーマについては、基本的に今まで通り、「地域の子どもたちの教育」というものを継続していく形を取り、更に研究を深めていけるとよい。

#### 2 課題

- 夏の臨地研修は時期が中学校の関東大会と重なり、大会運営や生徒の引率等で多くの先生が研究会に参加できない状況がある。
- 臨地研修は、3～6年位のサイクルで実施できるような候補地・内容をブロックとして事前に設定しておくとうよい。
- 臨地研修の内容、場所、講演会の講師等、事務局の先生に負担がかかるため、役員や授業提供校等と同様に、ローテーションによる分担をするとよい。
- 授業参観の後の研究会では、テーマごとのグループ討議、全体の協議テーマの焦点化、共通の話題に関する協議の柱立て等交流を効果的に深めるための工夫が必要。
- 興味を引く内容も大事だが、「地域の子どもたち教育をどうするか」の情報交換に時間を割いてもよい。例えば、教育内容（カリキュラム）や指導法、生徒指導、特別支援等に関する事項など、更に共有できる機会があればよい。

(ブロック長 平山直樹)